

ボランティアことはじめ

野鳥ボランティア

次世代へつなぐ野鳥を愛し、自然を守る心

暖かな12月某日の朝、二子玉川駅近くの多摩川河川敷。この日、「野鳥観察会」の校外授業を受けたのは近隣の小学校4年生。先生は、野鳥ボランティアのメンバーです。子どもたちとの会話のキャッチボールを楽しみながら野鳥観察や環境の大切さを伝える生き生きと活動する姿が印象的でした。

取材・文/中村寿子



現在約40人が活動中。みなさんの清々しい笑顔がステキ！

望遠鏡に野鳥を収めて見せる 覗き込んだ子どもたちの歓声

「わあ、すごい!」「かわいいね」と、望遠鏡をのぞき込んだ子どもたちの声が周囲の野鳥の声とともに響いています。約100人の子どもたちは9グループに分かれ、野鳥ボランティアのメンバーと周辺を観察しながら歩いて行きます。木々の中に野鳥を見つけると、すばやくメンバーが望遠鏡の中に収め、子どもたちは交代でレンズを覗き込みます。野鳥にまつわるさまざまな話を聞き、活発に質問する子どもたちに笑顔で応える様子は見ていて微笑ましいものでした。あつという間に1時間が経ってしまいましたが、この日は25種類もの野鳥



秋から春にかけて公園などで見られるメジロやモズ(写真提供:野鳥ボランティア)



代表の岡本博生さん

を観察でき、内容の濃い授業と一緒に受けることができました。身近にこんなにたくさんの野鳥がいることに驚きです。

鳥や自然に興味があれば いつでもだれでも参加できます

「野鳥ボランティアの活動は、このような学校や公園でのガイドをはじめ、調査活動、またその膨大な調査データをもとに報告書を作成・発信し、環境保全への取り組みにつなげています。会員同士の観察会や研修旅行もあり、年間を通じ100回以上も会全体の活動があるんですよ」と、代表の岡本博生さん。この活動はすでに生活の一部、それ以上になっているとのこと。

そして、活動の中で一番楽しいのは、今回のように子どもたちの野鳥観察のガイドをすることだそ

うで、別れ際に「あ～楽しかった」という声を聞くと、とてもうれしい気持ちになると同時に元気ももらえるとのこと。「現在約40人が活動しています。鳥や自然に興味があれば、いつでも、どなたでも参加できます」と岡本さん。ガイドを通じて、未来のメンバーを育て、少しでも環境の大切さを知ってほしい!一緒に自然を守っていこう!という真剣な思いが伝わってきました。

野鳥ボランティア

- 活動拠点
世田谷トラストまちづくりビクターセンター (成城4-29-1)
- 活動場所
世田谷区内・近郊
- 活動日
水曜・土曜など
- 問い合わせ
(一財)世田谷トラストまちづくり
☎6379-1620



野鳥観察には
欠かせない望遠鏡と三脚



声を抑えて歓声を上げる子どもたち